

社会福祉法人
黒松内町社会福祉協議会
TEL : (0136) 72-3124
FAX : (0136) 72-3838
mail : kuro-shakyo@
festa.ocn.ne.jp
HP : https://kuro-shakyo.
sakura.ne.jp/



ホームページ
QRコード

社協だより

— 広げよう支えあい！つなごう地域の力！ —



後志身障福祉大会、スポーツ大会 参加

9月5日、余市町で後志身体障害者福祉大会・スポーツ大会が開催されました。11町村が参加し、黒松内町身体障害者福祉協会からも4名の方が参加しました。

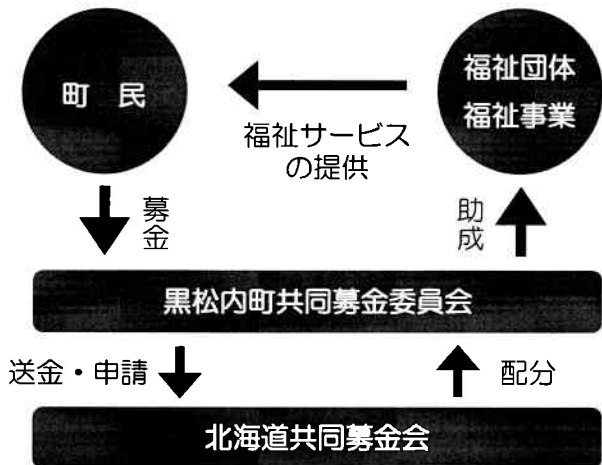
午前の福祉大会では、表彰式や日本民謡協会教授 新岡健一氏によるソーラン節などの演奏が行われました。午後からのスポーツ大会では、輪投げ競争等の個人種目や玉入れ等の団体種目が行われ、団体種目には寿都町との合同チームで参加しました。力を合わせて挑みましたが、結果は惜しくも4位！参加された会員からは「景品ももらえたと、参加出来て楽しかった」と喜びの声があがっていました。

この広報は赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。



赤い羽根共同募金運動が始まりました

令和6年度募金目標額964,500円



今年も10月1日～12月31日の期間において、赤い羽根共同募金運動が実施されます。

毎年、町民の皆様から頂いた温かい善意は、黒松内町および北海道の地域福祉活動や災害支援に役立てられております。募金運動が開始されました際には昨年同様、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金は、昭和22年に市民が主体の民間運動として始まり、その後、法律に基づき地域福祉の推進のために活用されてきました。

この共同募金は、事前に地域内の福祉施設や福祉団体、NPOやボランティア・市民団体などの各種活動に必要とされる資金ニーズを勘案し、使い道の計画を立ててから募金活動を行う計画募金です。町内会等のご協力による「戸別募金」、企業等のご協力による「法人募金」「職域募金」、街中などにおける通行人にお願する「街頭募金」、生徒や学校のご協力による「学校募金」などがあります。

なお、災害発生時には、募金の一部を災害等準備金として、被災地での災害ボランティアセンターの開設・運営などにも役立てられています。



Art by 葉月幹 © CFM



Art by めばえ © CFM



Art by さざなみ © CFM

社協窓口では、初音ミクをはじめとする各種クリアファイルやボールペン等の共同募金オリジナルグッズを募金額に応じてプレゼントしております。数に限りがございますので、お早めにお求め願います。

共同募金 寄付金付きピンバッジについて



Art by さんご。 © CFM

前回の社協だよりで紹介したご当地ピンバッジの他に2024年度の初音ミク・北海道のピンバッジが新たに加わりました。社協窓口にお立ち寄り際には、500円以上募金された方にプレゼントしておりますので、どうぞよろしくお願いします。

ビーフ天国に出店しました

7月27日「ビーフ天国くろまつない」に社会福祉協議会ブースを出店し、共同募金・日本赤十字の広報活動を行いました。

ブース内では、お菓子等が当たるガチャポンやビーフくん・ミルクちゃん共同募金ご当地ピンバッジの頒布等を行いました。

お陰様で1万785円の募金が集まりました。

赤い羽根共同募金へのおたぐさんのご協力ありがとうございました。



黒松内中学校 福祉学習を行いました



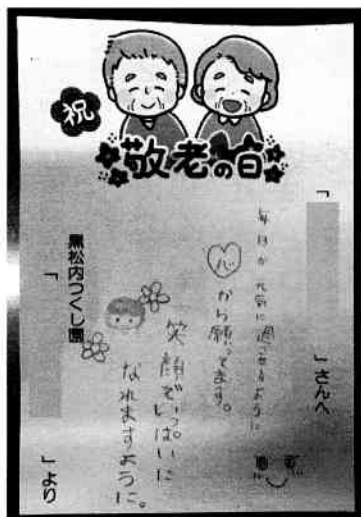
8月28日、黒松内中学校の2年生を対象に福祉学習を行いました。生徒の皆さんには、認知症サポーター養成講座と高齢者疑似体験、車イスの使い方を学んでもらいました。

認知症サポーター養成講座では、グループワークで生徒の方から、私たちが日頃考える対応とは違った目線からの意見を聞いて、改めて考えさせられることがあり、私たちもとても勉強になりました。

また、高齢者疑似体験では、いつものように体が自由に動かないことの大変さや、実際に車イスに乗って操作してもらうことにより、高齢者の方の体の状態を感じてもらえたのではないかと思います。



黒松内つくし園 ふれあい郵便事業を行いました



ふれあい郵便事業は、高齢者の方との貴重な交流機会の創出や、児童に福祉活動へ興味を持ってもらうことのきっかけづくりを目的として実施しております。

黒松内つくし園の児童たちから、敬老の日にあわせて、高齢者の皆さまへ様々なメッセージが書かれたハガキが送られました。

ハガキを受け取った方からは、「お体を大事にして下さいというメッセージがすごく嬉しかったです。」といった喜びの声を頂きました。

認知症講演会を開催しました

9月20日に合同会社うえるかむの池田ひろみ氏を講師に迎え「認知症の人への傾聴と言葉がけ」と題して講演会を開催しました。

認知症の症状について学び、認知症の人、そして認知症の方と過ごす家族の気持ちに寄り添った傾聴の姿勢や言葉がけの大切さを教えていただきました。周囲の方が認知症を正しく理解をすることが認知症になっても自分らしく生活していけることにつながるかと改めて感じました。

認知症に携わるボランティアに興味のある方は是非ご連絡ください。



第7期地域福祉実践計画の研修会を開催しました



社協では、町地域福祉計画と連携をとりつつ、今年度末まで展開する「第6期地域福祉実践計画」の課題を整理して、住民の目線に立った「第7期地域福祉実践計画（令和7年度～令和11年度）」を策定中です。

9月24日北海道社会福祉協議会地域福祉部より一戸航瓶氏をお招きし、計画策定の意義や道内での取り組み状況等に関する講演をして頂きました。

今後は、第2回・第3回策定委員会を行い、来年度初め頃に計画を公表する予定ですので、ご協力宜しくお願い致します。

ボランティアドライバー 募集中

社会福祉協議会では、自家用車によるボランティア運送事業を行っています。

ボランティア運送とは、社協に登録したドライバーが自家用車にて、通院・買い物などの外出を希望する町民を運行範囲内の目的地まで送迎する事業です。

【時間】

平日の8時～17時までの間で数時間

【運行範囲】

倶知安・伊達・八雲・岩内等の区間における市町村

【保険について】

ドライバーの方には個人の任意保険とは別に「移動支援サービス専用自動車保険（対人対物賠償、車両保険、自損事故傷害特約）」に加入致します。

ボランティア活動保険にも加入致します。（乗車中以外の往復途上も含むケガ、賠償責任の補償）

通院や買い物等でお困りの方への支援のため、空いている時間にボランティアドライバーをやってみませんか？

詳しくは社会福祉協議会までお問い合わせ下さい。



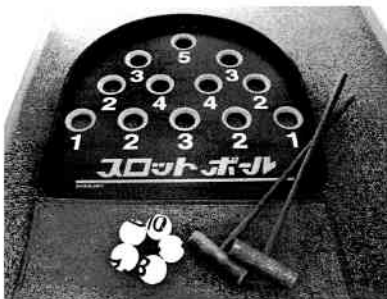
備品貸出について

社会福祉協議会では、レクグッズ等を無料で貸出をしています。お申し込みは、町内会単位の活動のほか、サロンやサークルなど、地域交流の際にご活用下さい。

ご利用には事前の予約が必要となりますので、社協までご連絡下さい。

また、貸出中や先に予約が入っているものがありましたら、ご利用できませんのでご了承下さい。

【スカットボール】



【ガチャポンマシン】



【麻雀牌・マット】



【折りたたみ卓球台】



【ガラポン抽選器】



【モルック】



その他に、輪投げ・たいこ相撲があります。

福祉用具の貸出について

社協では町民の方に福祉用具を貸出しています。怪我や体調不良で歩行が不安定になっているので試しに杖を使ってみたい、トイレまで移動が困難になってきたのでポータブルトイレを使ってみたいなど、状態に合わせて必要なものを無料でお貸ししていますので、社協までご相談下さい。(貸出期間は1カ月です)

【貸出用品】

- ・車いす
- ・杖、四点杖
- ・入浴用イス
- ・ポータブルトイレ
- ・シルバーカー
- ・お薬カレンダー
- ・集音器 など

※数に限りがありますので、貸出中の物はお貸しできない場合があります。ご了承ください。



☆福祉用具の寄附について☆

社協では、ご家庭で不要になった福祉用具の寄附を受け付けています。

※寄附をされる物品の傷み具合や、使用するのに問題はないかを「確認」をお願いします。

黒松内町社会福祉大会 開催について

本年も標記大会を次のとおり開催することになりました。日時は、10月27日(日)午前9時40分からです。

記念講演では、国立病院機構函館病院名誉院長の伊藤一輔様より「笑いと健康のステキな関係」笑って伸ばそう健康寿命」と題して、笑いと心の状態、免疫力の向上や笑いをもたらす良い影響などについて講演して頂きます。

多くの方々のご参加をお待ちしておりますので、宜しくお願い致します。

なお、詳細は各戸配布をご覧ください。

ライオンスクラ ブ様よりご寄附 がありました

6月27日、ライオンスクラブ様より「災害支援 茂尾実基金」へのご寄附がありました。この基金は、災害等の発生により支援が必要になった場合に活用させていただきます。

あたたかいご寄附をありがとうございました。



あたたかいご寄附
ありがとうございます

【令和6年6月～7月】

(順不同)

皆さまのご寄附は地域福祉推進のため、有効に活用させていただきます

- ・鈴木 浩勝様
- ・山田 介子様
- ・ライオンスクラブ様
- ・三坂 司様
- ・佐々木輝夫様
- ・増山 明様
- ・津田 利幸様

編集後記

8月に南海トラフ地震臨時情報が初めて出されました。

地震災害はいつ起こるかわかりませんが、家具の固定や備蓄品の確認など、ご家族で行ってみたいかがでしょうか。